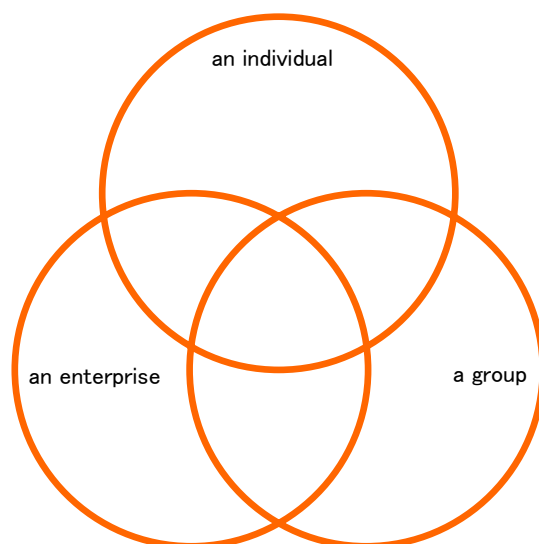


個人情報保護に関する資格を1日で習得できる!!

認定プライバシープロフェッショナル 養成講座のご案内

～個人情報保護体制の確立は企業の信頼の証です～



株式会社 T P C

1. ご挨拶

平成17年4月に個人情報の保護に関する法律（個人情報保護法）が全面施行されてから企業における個人情報保護体制の強化が義務付けられました。

しかしながら、企業・個人を問わず消費者の関心が高まる一方で、あとを絶たない**個人情報の漏えいや紛失・流出事件**。そのほとんどが**人的な問題**によるものだということをご存知の方は多いでしょう。物理的なセキュリティをいかに強化しても、個人情報保護体制が万全とは言えないことを露呈してまいります。

つまり、企業が個人情報の保護に努めるにあたって、**社員教育を継続的に行い、啓蒙**していくことが必要とされているのです。

そして、個人の方におかれましては、**個人情報保護に関する知識・資格を有している**ということが、**就職に有利**と言えます。なぜなら、企業が従業員を教育するにはある程度の費用が必要となるため、もともと知識を持っている方を採用すれば、教育に関するコスト削減にもなるからです。

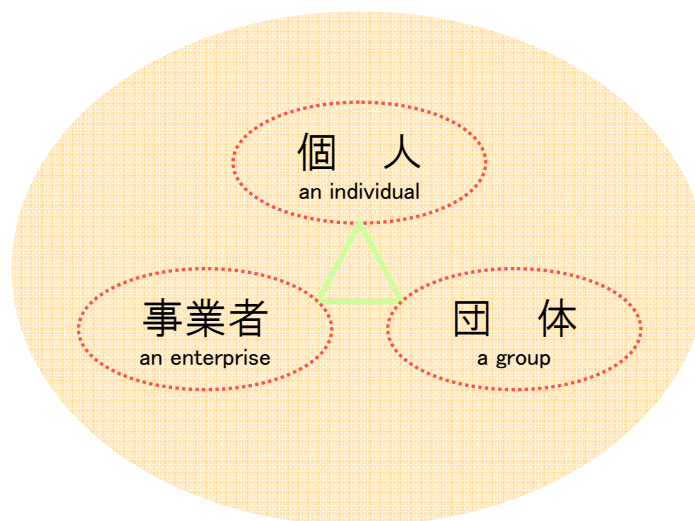
貴社や貴社の従業員の方が、また、これから就職を考えている方が、お客様やお取引先、面接先の企業から個人情報保護体制について尋ねられたときに、自信を持って万全です！と言えることが、私たちの使命と考えます。

一社でも、また一人でも多くの皆様に、企業の個人情報保護体制の重要性について、ご賛同いただき、社内教育や就職活動のアピールポイントに、本講座をご活用いただけることを願い、ここにご挨拶といたします。

〈個人情報保護法の特徴〉

- ① あらゆる分野が対象
- ② 基本法と一般法で構成
- ③ 所管省庁、主務大臣が監督（事業法としての性格）
- ④ 当事者間の法律* 右図参照

詳細は講座にてご説明いたします。

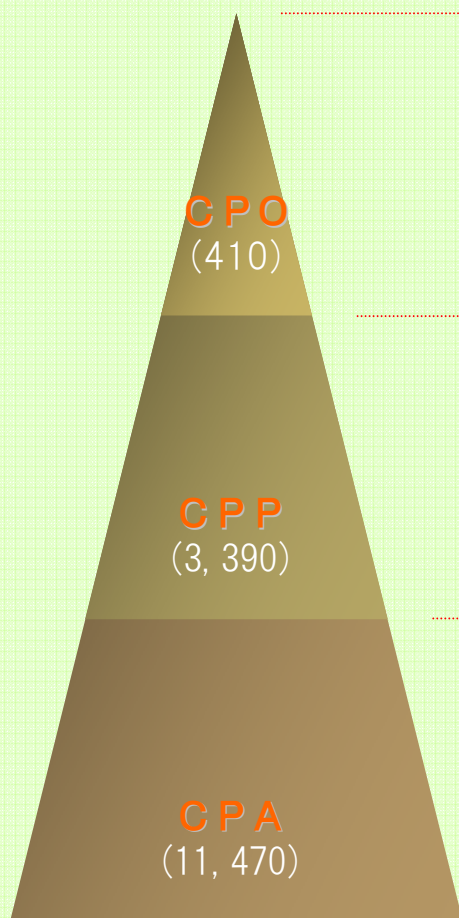


2. CPA/ CPPとは?!

CPA/ CPPはいずれも日本プライバシープロフェッショナル協会（JPPA）が、個人情報に関わる事件・事故を防ぐために行う、組織内の役職に応じた個人情報保護教育です。株式会社TPCはJPPAの認定を受けた研修機関として、東京都内を中心として受講者を受け入れ、研修活動を行っています。

次に、認定プライバシープロフェッショナルの種類をご案内いたします。

<組織的社内体制整備の必要性/個人情報保護社内認定制度>



■CPO (Chief Privacy Officer)

個人情報保護責任者。個人情報取扱事業者の代表者によって任命されたものであって個人情報保護法に対応したコンプライアンスプログラム又は組織内の個人情報保護体制の構築・運用を行う責任者で個人情報保護取扱いについて決定する権限を有する方を対象とした認定資格。

■CPP (Corporate Privacy Professional)

個人情報保護管理者。課長及びマネージャークラスの方向け。コンプライアンスプログラムの実施・運用に関する業務に精通し個人情報保護を取り扱う従業員を管理する方が取得される認定資格。

■CPA (Corporate Privacy Associate)

個人情報取扱従事者。一般従業員（アルバイト等含む）向け。日常業務で個人情報を直接取り扱う最前線の方が取得される認定資格。

※()内は2012年3月現在の受講者数（JPPA協会統計）

3. 教育概要

弊社で受付可能な講座につきまして、コース内容をご説明いたします。

■ CPA (Corporate Privacy Associate)

【座学1日間】

- ①個人情報保護に関する諸問題と、それを踏まえた個人情報取扱従事者としての責任
 - ②企業／団体における個人情報保護体制の作成と運用ポイント
- に重点を置いた教育

【主な内容】

- ・個人情報保護の重要性と個人情報保護法制定の背景
- ・個人情報保護のスキーム
- ・個人情報保護と分野別ガイドライン
- ・個人情報保護に関する関連法令等
- ・ケーススタディ

【対象者】

- ・一般従業員（アルバイト、契約社員、派遣社員等を含む）の方
- ・日常の業務で個人情報を取扱う最前線の方

■ CPP (Corporate Privacy Professional)

【座学2日間】

- ①個人情報保護に関する諸問題の理解、企業／団体の責任と課題
 - ②課題に対応するための対策や体制づくりの手順
 - ③個人情報取扱従事者の管理や指導の手順
- に重点を置いた教育

【主な内容】

- ・個人情報保護の重要性と個人情報保護法制定の背景
- ・個人情報保護のスキーム
- ・個人情報保護と分野別ガイドライン
- ・個人情報保護に関する関連法令等
- ・ケーススタディ
- ・個人情報保護と情報セキュリティ
- ・JISQ15001:2006個人情報保護マネジメントシステム

【対象者】

- ・事業部門長もしくは個人情報取扱部門のマネージャークラスの方
- ・組織内の最高プライバシー責任者によって指名された方
- ・個人情報保護マネジメントシステムの実施や運用に関する業務に精通し、日常的に個人情報保護を推進する方

■ CPO (Chief Privacy Officer)

CPO研修は、特定非営利活動法人日本プライバシープロフェッショナル協会（JPPA）が主催いたしますが、開催のご案内や受講申込は弊社でも受付けております。

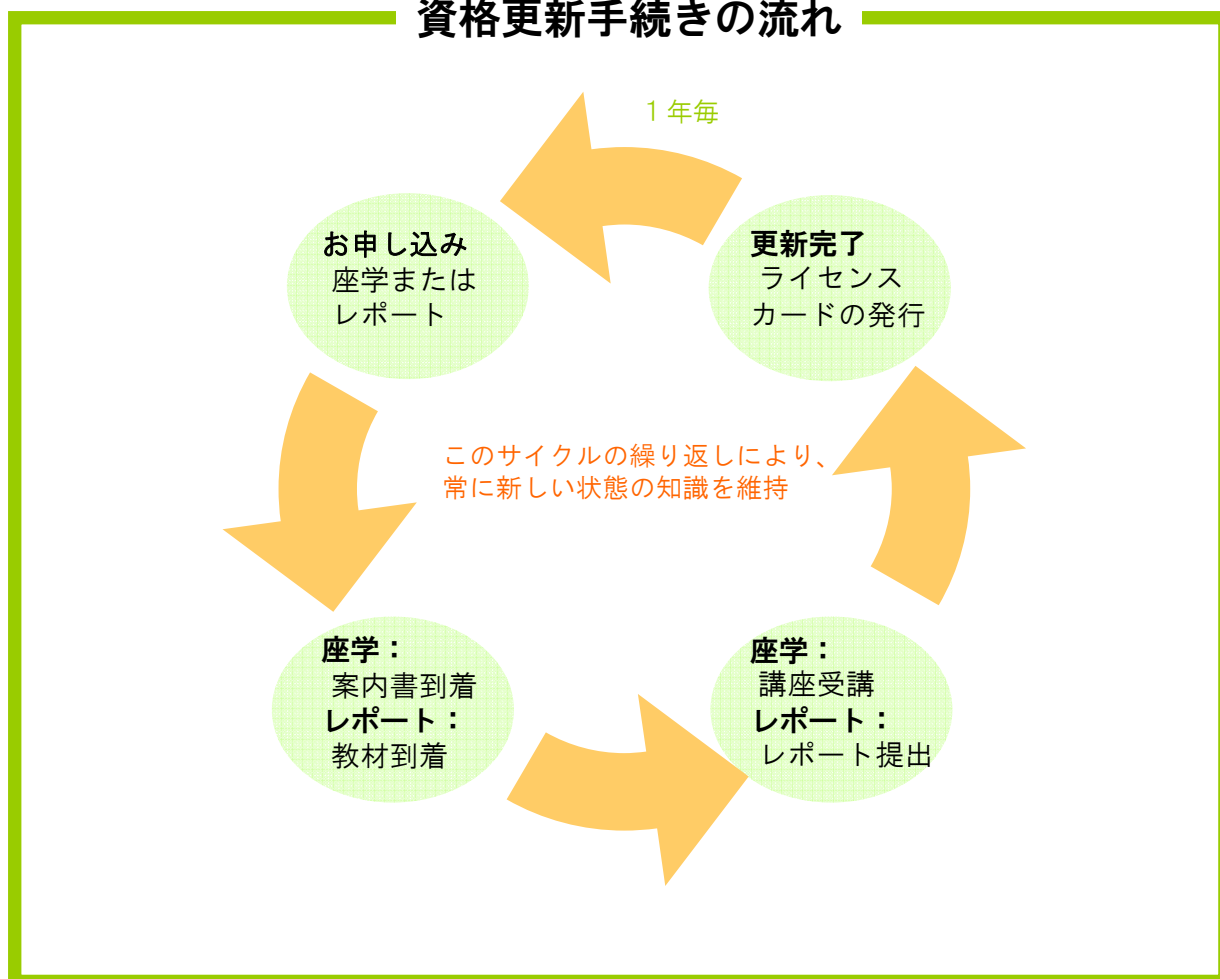


4. 資格の更新手続きについて

CPA/ CPPの大きな特長は、講義を受けて認定試験をパスし、資格証を受領して終わりではないということ。個人情報保護法施行後も、毎日のように個人情報の漏洩事件・事故がニュースになり、法律については、今後も改正を重ねながら進んで行くものと考えられます。つまり、資格者として、定期的かつ継続的な知識のブラッシュアップが必要とされます。その意味でも本資格の有効期限は1年間とされ、資格更新を行い、ライセンスを保持し続けることで、本来の資格の有効性が発揮されます。

更新の際は、1年前に学んだ内容の復習、個人情報保護法の概要や仕組み、JISQ15001:2006の概要、個人情報に関する他の法令や最近のトピックス等を改めて学んでいただきます。よって、常に最新の個人情報保護に関する知識を身に付け、実践することができるようです。更新手続きについては、JPPAより事前に連絡がありますので、忘れることなく安心です。

資格更新手続きの流れ



5. 開催実績

CPA／CPP養成講座の実績についてご紹介いたします。

1) 主な受講企業

- 広告代理店
- 大手航空会社
- 大手電子機器製造販売会社
- 大手美容会社
- ネット販売会社
- 人材派遣会社
- 研修関連会社
- アミューズメント関連会社 他、多数

2) 受講目的

- CPA：新人、中途社員のための研修ツールとして。
- CPP：管理職の方が、個人情報保護の管理・指導を行うため。

3) 受講者の声

実際に、講座を受講された方の感想です。

通常業務において、個人情報を取っていましたが、今回の講義を受けて、今まで注意が足りなかったと認識しました。これからは、個人情報に対する扱いを慎重に行うよう心がけます。
(広告代理店、美容会社)

業務柄、特定の機微（センシティブ）な情報を取得することがありますが、通常の個人情報より慎重な取扱いが必要なることが分かりました。
(美容会社)

今回受講した内容に基づいて、社内の教育ツールとして活用させていただきます。
(大手電子機器製造販売会社、人材派遣会社)



6. 講座のお申し込み方法

CPA/ CPPの講座は、弊社ホームページにて受付けております。
URLはこちら (<http://www.tpc.com.jp>)。

■受講形態

1) 開催日程に合わせた受講

会社にお勤めの方、個人の方どちらでもご受講いただけます。
弊社ホームページにて開催日程をご確認のうえ、ご都合のよい日程にお申込ください。
※受講受付後、最小受講者数に達しない場合は開催しないことがありますので
ご了承ください。

2) スケジュール

コース	研修時間	試験時間
CPA(座学1日)	9:30~16:20	16:20~17:00

コース	研修時間(1日目)	研修時間(2日目)	試験時間(2日目)
CPP(座学2日)	9:30~16:00	9:30~16:00	16:00~17:00

3) 企業様単独での開催・受講

10名以上の方が受講をご希望される場合、出張講習も承っております。
社内での開催が困難な場合は、会場確保など、ご相談ください。

■受講料

弊社ホームページをご確認ください。

お問い合わせ

<特定非営利活動法人 日本プライバシープロフェッショナル協会認定研修機関>
株式会社TPC
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町2-4-9 茅場町大栄ビル
TEL 03-5652-5353 FAX 03-5652-5399
URL <http://www.tpc.com.jp>